

売上高

8,144 百万円

(前年同期比 5.7%減)

■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想
(単位: 百万円)



営業利益

234 百万円

(前年同期比 5.0%増)

■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想
(単位: 百万円)

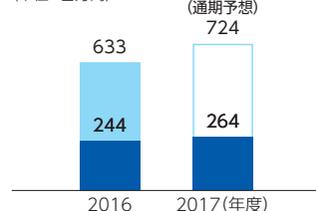


経常利益

264 百万円

(前年同期比 8.0%増)

■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想
(単位: 百万円)



四半期(当期)純利益

177 百万円

(前年同期比 9.0%増)

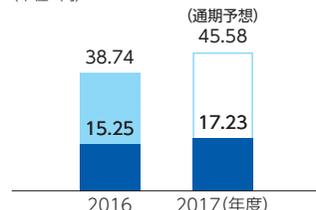
■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想
(単位: 百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益

17.23 円

■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想
(単位: 円)



1株当たり配当金

10.0 円

■ 通期 □ 通期予想
(単位: 円)



株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式の総数 11,800,000株
株主数 1,700名
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)	
安藤文男	1,515	14.98	現当社代表取締役社長
アイエックス・ナレッジ株式会社	1,444	14.28	
株式会社三菱東京UFJ銀行	214	2.12	
株式会社千葉興業銀行	203	2.01	
有限会社エム・ビ・エス	200	1.98	
三井倉庫ホールディングス株式会社	200	1.98	
秋山峰延	190	1.88	
春日正好	173	1.71	現当社最高顧問
株式会社SBI証券	122	1.21	
岡村五夫	109	1.08	

(注) 1.当社は、自己株式1,683,461株を保有しておりますが、上記株主からは除いております。

2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月に開催
同総会議決権行使株主確定日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日(中間配当を行う場合)
その他の基準日 上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定いたします。
公告掲載URL 当社ホームページ
<https://www.ikic.co.jp/>
に掲載いたします。(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

単元株式数 1,000株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都府中市日鋼町1番地1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場金融商品取引所 東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)
(注) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、2017年8月14日付にて上記のとおり連絡先が変更となっております。

アイエックス・ナレッジ株式会社

〒108-0022 東京都港区海岸 3-22-23
TEL.03-6400-7000 (代表) FAX.03-6400-7900

アイエックス・ナレッジ株式会社

REPORT

第40期 第2四半期

2017年4月1日～2017年9月30日

株主通信



IX Knowledge Inc.



代表取締役社長
安藤 文男

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、アイエックス・ナレッジ株式会社2017年度第2四半期(2017年4月1日~2017年9月30日)の決算を終了いたしました。ここに業績・トピックスなどをご説明する「株主通信」をお届けいたします。

本誌を通じて当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

<2017年度第2四半期のトピックス>

- 4月 新入社員60名入社
管理部門再編(各組織機能の集約及び業務効率の向上へ)
一般社団法人 ブロックチェーン推進協会入会
- 5月 自己株式 50,000株取得
- 6月 「iMPLEO」「i-Connection」 拡販に向けAPPS JAPAN2017出展
自己株式 55,000株取得
- 8月 自己株式 163,000株取得
- 9月 社会貢献活動「ロボット&プログラム体験教室」開催
(上期3回開催)

■ 損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2017年度 第2四半期累計)	前第2四半期 (2016年度 第2四半期累計)
売上高	8,144	8,632
売上総利益	1,314	1,398
営業利益	234	222
経常利益	264	244
税引前四半期純利益	264	242
四半期純利益	177	162

■ 貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

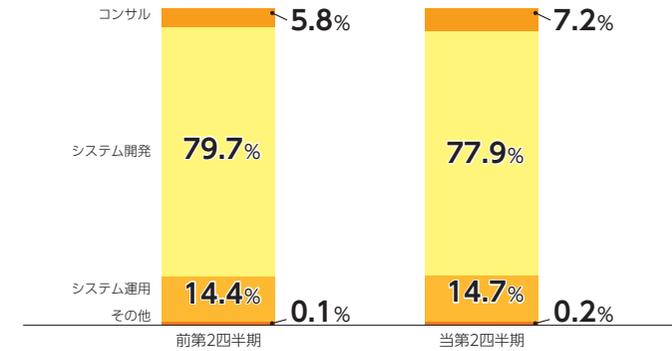
科目	当第2四半期 (2017年度 第2四半期会計)	前期 (2016年度)
資産の部		
流動資産	6,611	6,607
固定資産	2,078	2,086
資産合計	8,690	8,694
負債の部		
流動負債	2,201	2,105
固定負債	2,465	2,547
負債合計	4,666	4,653
純資産の部		
株主資本	3,805	3,832
評価・換算差額等	218	208
純資産合計	4,024	4,040
負債・純資産合計	8,690	8,694

■ キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

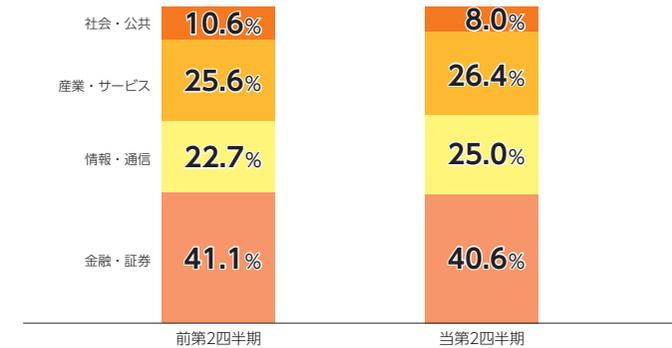
(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2017年度 第2四半期累計)	前第2四半期 (2016年度 第2四半期累計)
営業活動によるキャッシュ・フロー	311	290
投資活動によるキャッシュ・フロー	1	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235	△218
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,588	3,245

■ 品目別売上高比率



■ 業種別売上高比率



ポイント解説

■ 損益計算書

売上高については、大手通信事業者向けのシステム検証案件および次期成長事業と位置づける車載システム案件が拡大しましたが、前年同期の大型請負案件をカバーするには至らず488百万円の減少(5.7%減)となりました。一方、利益面では、残業の削減や販管・間接業務の効率化、さらには低収益案件の整理などの事業基盤の強化に取り組んだことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増加しました。

■ 貸借対照表

前事業年度末に比べ資産、負債、純資産ともに大きな変動はなく、自己資本比率は46.5%から46.3%となりました。

■ キャッシュ・フロー計算書

営業活動で得た資金を、財務活動(配当金の支払、自己株式の取得など)で支出した結果、現預金残高は3,588百万円となりました。